

2022年度 学校法人関西大学 予算の概要

1 予算の概要

関西大学は2022年6月5日に「大学昇格100年」を迎えます。当時の理想であった山岡順太郎による教育・研究活動の理念である「学の実化」の提唱、学費の削減、千里山キャンパスの開校など大学の礎を築いてから100年のメモリアルイヤーとなることから、記念式典およびシンポジウムを開催するほか、公開講座「学の実化講座」の開催や経済人・起業家などの育成を目的とした「山岡塾」の創設など、多彩な記念事業を展開してまいります。

この度、2022年度予算が、2022年3月24日開催の理事会において承認されました。

2022年度は、創立150周年を見据えて策定した「Kandai Vision 150」について、その政策目標（10年）の前半5年間の振り返りを踏まえて策定した新たな中期行動計画を開始する年であり、計画達成に向けた取り組みを着実に推進します。

また、私立大学の自主性と多様性を踏まえつつ、大学改革を推進する上での指針となる「本原則」の「私立大学ガバナンス・コード（第1版）」の基本原則と遵守原則に継続して準拠し、法人全体のガバナンスの向上改善を行います。

2022年度の事業計画は、「2 事業計画の概要」としており、財政基盤を強化し、これらの諸事業を推進するため、新規事業は戦略的に予算を配分し、既存事業についてはゼロベースの視点から費用対効果を検証して、限られた財源の有効活用を徹底することとし、「4 収支予算の概要」とおり予算を編成しました。

2 事業計画の概要

2022年度における教育研究活動の事業計画の主なものは、次のとおりです。

(1) 教育研究活動関係

ア 全学的なDX(Digital Transformation)の推進

本学は2020年度に「関西大学DX推進構想」を策定し、文部科

学省大学改革推進補助金「デジタルを活用した大学・高等教育高度化プラン(Plus-DX)」に2件の取り組みが採択され、学内の環境整備を進めてきました。

2022年度は、学生の学びの向上を実現すべく、講義収録・配信システム「Panopto」やキャリア支援システムとの連携で機能強化された「LMS」の活用を促進します。また、キャンパス間や地域を越えてオンラインでつながることができるグローバルスマートクラスルーム(GSC)やオンライン授業支援アプリ、VR(仮想現実)による教育コンテンツ、共通教育科目「グローバル科目群」などの授業において活用していきます。



【関西大学DX推進構想】

イ 関西大学科目群の充実と科目支援体制の整備

2022年度から、全学生に意図的に取り組んでもほしいトピックスをテーマとした科目を設置するため、共通教育科目「関西大学科目群」に「戦略トピックス」区分を新設します。今期のテーマは、SDGs、カーボンニュートラル、データサイエンス、アントレプレナーシップとしており、このうちデータサイエンスに関する4科目は、文部科学省が定める「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」への申請（2022年度リテラシーレベル・2023年度応用基礎レベル）を予定しています。

また、2022年度の授業実施において、多数の履修者に対して、双方向性の担保と適切なフィードバックによる質の高い授業を実施

施するための支援体制について検討し、アカデミックアドバイザーの配置などを計画します。

ウ SDGs推進に向けた取り組み

2021年度に制定した、本学のSDGsの取り組みに賛同する組織との枠組みであるSDGsパートナー制度を基礎に、パートナー企業・団体と産学官の多様な取り組みをさらに加速させます。

これまで、パートナー企業・団体から派遣された講師による共通教育科目「SDGsの実践」の授業への登壇や、SDGsWeeksなどでのワークショップの開催、講演などが行われており、着実に成果につながりつつあります。今後は、連携協定ありSDGsパートナーでもある法政大学と協力がながら、SDGsWeeksや学生がSDGsに関連する各種課題の解決策を提案するアジアンプランコンテストのさらなる展開・充実を進めます。

エ アントレプレナーシップ醸成プログラムの新展開

学生の起業を支援し、アントレプレナーシップ(起業家精神)を醸成するため、イノベーション創生センターでは、イノベーターズトークや企業見学会、ビジネスアイデアコンテスト[FinX]を継続・発展させます。さらに、アントレプレナーシップをテーマとした共通教育科目を2022年度に開講することから、起業に心を持った学生の受け皿として、アウトプット機会の提供、メンタリングなどを実施します。

また、梅田キャンパスでは、アントレプレナーシップ醸成プログラム(HACK ACADEMY)参加者から選抜された学生に対して専門家による人的支援、支援資金などの経済的支援を行う「HACK ACADEMYインキュベーションプログラム」を継続して実施します。

オ システム工学部におけるデータサイエンティスト育成プログラムの実施

データサイエンス分野で活躍しうるAI・IoT人材を育成すべく、産業界・大学・高等学校が連携した機動的な取り組みを推進しています。



【システム工学部における教育方針】

2022年度は、機械工学科において機械工学データサイエンス教育プログラムを開始させます。学科横断的な時代のトレンドを常に取り入れられる柔軟なカリキュラムの構築を目指し、機械工学の理論や専門知識の修得だけでなく、実際の機械や物理現象を計測して得たデータの処理・分析による実践的な教育プログラムにより、意味のある「情報」として抽出する能力を養います。

カ 2018年度探検文部科学省 大学の世界展開力強化事業「グローバル・キャリアマインドを培うCOIL Plusプログラムの推進

自らの将来の可能性を国境や言語、文化の壁を乗り越えて考える「グローバル・キャリアマインド」を醸成するため、COIL方式により、ICTツールを活用し、海外の学生と共同でCOIL型学習を行うプログラムを推進していきます。

5カ年計画の最終年度となる2022年度は、COIL型教育について、教員のマッチングサイトや効果検証を行う施設「アセスメントルーム」などを活用することでその普及を進めつつ、COIL型教育を活用して高校生に大学の初級レベルの授業を提供するAdvanced Placement(AP)型高大連携プログラムを開始します。

交流推進事業である「COIL Plusプログラム」では、「COIL方式を互いに海外での学習と海外現場での研修・留学という一連の活動を継続しつつ、大学の世界展開力強化事業の採択プログラムなどと連携し、夏休みおよび春休み期間にMultilateral COIL Program(日本および他の国地域の大学との連携によるCOIL型教育プログラム)を実施します。



【COIL型教育の授業風景】

キ キャリア形成および就職支援事業

入学時から卒業までの一連の戦略的就職支援策として、低年次からのキャリア教育をベースとしながら、「関西大学DX推進構想」による「関大キャリアハブ」の実施、並びに関大LMSとキャリア支援システムを連携させたポートフォリオ機能を構築します。一方、重層的な企業・官庁訪問や各種交流事業を展開し、企業などから必要な最新情報を適宜入手します。外部環境分析とともに多岐にわたる個人毎のデータを蓄積・活用することで学部生・大学院生の進路相談を最適化し、自らの職業選択に自信を持った人材を育成します。また、毎年累加されていく卒業生のポートフォリオデータを職業選択傾向の分析に寄与させます。

さらに、近畿圏はもとより首都圏における戦略的就職支援策として、東京センターを有効活用し、関東方面の内地実績の向上を図ります。これらの各戦略に基づいた取り組みにより、進路決定における学生満足度を高め、ひいては大学としてのブランド力を向上させます。

また、エクステンション・ロードセンターでは、DXの推進に必要な最新のデジタル技術やビッグデータなどを活用できる人材をより多く育成するため、全学生が受講できる実践的なスキルや知識を体得できるデジタル関連講座を8講座新設します。

(2) 教育研究施設設備の整備充実関係

2カ年計画の2年目となる総合図書館のリニューアル工事は、空調設備の更新や、屋上の防水を実施するほか、書庫の狭域化解消に向けて集積書を設置します。

また、第2学舎1号館前広場整備工事(大学昇格100年記念事業)、学内エレベーター防犯機能強化およびバリアフリー階段昇降機の整備などを実施し、施設設備の充実を図ります。このほか、関西大学第一高等学校・中学校校舎の繕修工事(5カ年計画)を開始します。

3 収支予算書

予算書については、私立学振奨励助成法による学校法人会計基準に定められた「資金収支予算書」と「事業活動収支予算書」の2種類を作成することになります。

「資金収支予算書」は、当該年度における学校法人全体の諸活動の計画を、事業活動収支計算の基礎に基づいて計数として表示したものです。学校法人の諸活動に伴う収支を経常的な収支と臨時的な収支に区分し、それぞれの収支の均衡状況とその内容を明らかにすることによって、学校法人の経営状況が健全に維持されているかどうかを示すものです。

「事業活動収支予算書」は、当該年度における学校法人全体の諸活動の計画を、事業活動収支計算の基準に基づいて計数として表示したものです。学校法人の諸活動に伴う収支を経常的な収支と臨時的な収支に区分し、それぞれの収支の均衡状況とその内容を明らかにすることによって、学校法人の経営状況が健全に維持されているかどうかを示すものです。

「貸借対照表」は、学校法人の一定時点における資産、負債、純資産をもって財政状態を示すものです。決算時に作成することになりますが、本学では予算時に年度末の財政状態をより分かりやすくするために、2021年度補正後予算および2022年度予算を踏まえ、「予想貸借対照表」を作成しています。

4 収支予算の概要

(1) 資金収支予算について

2022年度資金収支予算は、12ページに掲載の「資金収支予

算書(総括)」のとおりです。

資金収入は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、補助金収入などの法人に帰属する収入のほか、前受金収入なども含め、52億2,300万円となりました。

資金支出は、教職員の人員費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費、施設設備費のほか、借入金返済などの支出も含め、52億6,300万円となりました。この結果、差し引き1億6,000万円を前年度繰越支払資金に加え、翌年度繰越支払資金は141億5,400万円となりました。

(2) 事業活動収支予算について

2022年度事業活動収支予算は、12ページに掲載の「事業活動収支予算書(総括)」のとおりです。

経常的な収支のうち、教育および研究活動の収支状況を表す事業活動収支では、学生生徒等納付金、手数料、経常費等補助金などの教育活動収入から、人員費や教育研究経費などの教育活動支出を差し引いた教育活動収支差額は7億6,300万円の収入超過となり、対前年度比較で2億300万円の増となりました。また、主として財務活動の収支状況を表す教育活動外収支差額は3億8,700万円の収入超過となり、この結果、経常収支差額は11億5,000万円の収入超過となり、対前年度比較で1億8,200万円の増となりました。これに施設設備に対する寄付金や補助金、資産の処分などに係る臨時的な収支を表す特別収支差額9,700万円の収入超過を加え、予備費を差し引いた基本金組入前年度収支差額は6億4,700万円の収入超過となり、対前年度比較で1億7,500万円の増となりました。一方、基本金組入前年度収支差額は1億5,000万円の収入超過となり、対前年度比較で2億6,700万円の増となりました。この結果、当年度収支差額に前年度繰越収支差額を加えた翌年度繰越収支差額は、263億700万円の支出超過となりました。

また、この累積収支差額ほか、建物などを取得する際の借入金未返済額に当たる基本金未組入額が31億900万円ありまると、実質上の繰越収支差額はこれを合わせた294億1,600万円の支出超過となります。

なお、2022年度の予算書・事業計画書(予想)をはじめ、関西大学の財務情報を「関西大学ウェブサイト」に掲載しておりますので、ご覧ください。

www.kansai-u.ac.jp/zaimu/

2022年度 事業活動収支予算における「学生生徒等一人当たりの経常的な支出とこれを賄う収入」



【注1】事業活動収支予算における経常的な支出(教育活動支出、教育活動外支出)及び収入(教育活動収入、教育活動外収入)の計算額を、科目ごとに残った予算計数33,112人(次年度学生・留學生・新入生・転入生・中途退学者)の平均人数(注2)で除算し、一人当たりの収支額を算出した。注2は基本金組入額は、校舎、校倉、機庫など、借入金の返済、又は売却目的などの積立金の入札と、貸付目的の主に、貸付目的のみに変更である。

科目	2022年度予算		2021年度予算		増減		
	2022年度予算	2021年度予算	2022年度予算	2021年度予算			
1 人員費支出	26,585,178	26,363,531	221,647	1 学生生徒等納付金収入	39,015,589	38,697,238	318,351
2 教育研究経費支出	16,365,672	16,821,941	(456,269)	2 手数料収入	26,333,975	2,726,374	(23,607,601)
3 施設設備費支出	1,817,057	1,827,726	(10,669)	3 補助金収入	300,000	290,000	10,000
4 借入金等返済支出	6,883	11,421	(4,538)	4 補助金収入	6,691,403	6,958,587	(267,184)
5 借入金等返済支出	1,003,370	1,239,200	(235,830)	5 借入金等返済収入	6,000,000	6,117,088	(117,088)
6 借入金等返済支出	1,729,870	2,136,105	(406,235)	6 借入金等返済収入	1,065,200	1,272,604	(207,404)
7 借入金等返済支出	2,142,386	1,991,852	150,534	7 借入金等返済収入	393,578	418,878	(25,300)
8 借入金等返済支出	2,249,237	2,245,376	3,861	8 借入金等返済収入	1,472,915	1,293,201	180,414
9 借入金等返済支出	2,467,043	2,464,923	2,120	9 借入金等収入	300,000	300,000	0
10 借入金等返済支出	600,000	600,000	0	10 借入金収入	6,940,528	6,873,073	67,455
11 借入金等返済支出	(3,204,443)	(2,053,233)	(1,151,210)	11 借入金等収入	1,924,527	2,690,056	(765,529)
12 借入金等返済支出	(52,662,253)	(53,654,842)	(992,589)	12 借入金等収入	(735,355)	(8,183,558)	247,919
13 借入金等返済支出	14,153,873	13,993,950	(159,923)	(小計)	15,449	8,012	7,437
支出超過(不足)	66,816,526	67,648,792	(832,266)	13 前年繰越支払資金	15,993,950	14,611,971	(1,381,979)
支出超過(不足)	66,816,526	67,648,792	(832,266)	収入超過(不足)	66,163,266	67,648,792	(1,485,526)

科目	2022年度予算		2021年度予算		増減		
	2022年度予算	2021年度予算	2022年度予算	2021年度予算			
1 学生生徒等納付金収入	39,015,589	38,697,238	318,351	1 貸付目的収入	500	1,068	(568)
2 手数料収入	26,333,975	2,726,374	(23,607,601)	2 その他の借入金収入	112,138	11,000	1,011,338
3 補助金収入	300,000	290,000	10,000	3 借入金収入	112,628	112,628	578
4 補助金収入	6,691,403	6,958,587	(267,184)	4 借入金収入	15,449	8,012	7,437
5 借入金等返済収入	6,000,000	6,117,088	(117,088)	5 借入金収入	15,449	8,012	7,437
6 借入金等返済収入	1,065,200	1,272,604	(207,404)	6 借入金収入	97,189	104,556	(6,867)
7 借入金等返済収入	393,578	418,878	(25,300)	7 借入金収入	600,000	600,000	0
8 借入金等返済収入	1,472,915	1,293,201	180,414	8 借入金収入	6,471,330	471,918	175,212
9 借入金等収入	300,000	300,000	0	9 借入金収入	(1,524,258)	(3,416,106)	1,891,848
10 借入金収入	6,940,528	6,873,073	67,455	10 借入金収入	(8,777,128)	(2,944,186)	2,067,660
11 借入金収入	1,924,527	2,690,056	(765,529)	11 借入金収入	23,310,000	22,486,170	2,823,830
12 借入金収入	(735,355)	(8,183,558)	247,919	12 借入金収入	26,307,486	25,430,358	877,128
13 借入金収入	15,993,950	14,611,971	(1,381,979)	13 前年繰越支払資金	15,449	8,012	7,437
収入超過(不足)	66,163,266	67,648,792	(1,485,526)	収入超過(不足)	51,684,160	51,758,250	(74,090)
収入超過(不足)	66,163,266	67,648,792	(1,485,526)	収入超過(不足)	51,047,030	51,286,332	(239,302)

【注1】2022年度予算(は)第1次補正後予算を示す。

科目	2022年度末		2021年度末		増減		
	2022年度末	2021年度末	2022年度末	2021年度末			
資産の部							
現金当座預金	211,361,278	211,540,628	(179,350)	純資産の部			
債権	105,675,165	107,172,814	(1,497,649)	1 貸付金	229,925,856	228,401,598	1,524,258
固定資産	104,555,076	102,528,384	1,526,692	2 借入金	206,434,886	204,917,600	1,522,386
その他の固定資産	1,891,395	1,891,395	0	3 借入金	20,077,800	20,075,988	1,812
流動資産	15,888,686	15,550,364	338,322	4 借入金	3,413,000	3,413,000	0
負債の部				5 借入金	26,307,486	25,430,358	877,128
借入金	12,964,771	13,347,877	(383,906)	6 借入金	26,307,486	25,430,358	877,128
流動負債	10,666,823	10,772,075	(105,252)	7 借入金	20,077,260	20,077,260	0
負債合計	23,631,594	24,126,952	(495,358)	負債及び前期繰越金 合計	227,249,904	227,650,992	(401,088)